

学術用語集気象学編（増訂版）出版のお知らせ

かねてより改訂作業を進めてまいりました、学術用語集気象学編が増訂版として近日中に下記により出版されますのでお知らせします。

（学術用語委員会）

記

発行所：日本学術振興会

発売所：丸善株式会社

定 価：1,500 円

第25回粉体に関する討論会の講演申込みのお知らせ

日 時 昭和62年9月24日（木）～9月26日（土）

場 所 北海道大学学術交流会館
札幌市北区北8条西5丁目
電話 011-758-5426

討論主題 (1) 超微粒子の科学と工学
(2) 粉粒体の生成と物性
(3) 粉粒体プロセス
(4) 粉粒体一般

なお、今回は講演時間20分、討論10分の子定でおります。このため、ポスター形式による発表約20件を見込んでおります。講演申込に発表形式の御希望をお書きください。ただし、プログラム編成の都合上変更させていただきますこともあります。

講演申込締切 昭和62年6月1日（月）

申込方法 B5版大の用紙に「第25回粉体に関する討論

会申込書」と明記し、①申込者名、②所属学会、③勤務先（住所、電話番号）、④連絡先（住所、電話番号）⑤演題（討論主題番号明記）、⑥ポスター／口頭発表の希望、⑦発表者氏名（講演者に○印）⑧200字程度の要旨を記入し、下記にお送り下さい。なお、採択された講演については、所定の原稿用紙および執筆要領をお送りします。

予稿原稿締切 昭和62年8月3日（月）必着。

講演参加申込先 050 室蘭市水元町27-1

室蘭工業大学化学工学科

「第25回粉体に関する討論会」

渡辺治夫宛

電話 0143-44-4181 内線 319



ひまわり3号の運用状況

ひまわり3号は、この期間もおおむね良好に運用を続けており、現在は1986年8月30日から10月15日までの予定で、秋期食運用を行っている。

7月から9月にかけては、台風や集中豪雨による臨時観測の要請も多く、ひまわりにとっても忙しい時期である。この7月には、1カ月間としては過去最高の117回の臨時観測を行うなど、宇宙の気象台としての役割を遺漏なく発揮した。これは、通常観測時1日14観測であることから、およそ8日間分に相当する。しかし、ひまわりにもこの大活躍の疲れが出たのか、8月6日に地上からのコマンドを受け付けなくなり、また翌日にはアンテナの指向方向が地球方向からずれるなどの不具合が発生

した。その後の運用は良好である。

ひまわり3号も、1986年9月27日で運用開始から丸2年となり3年目に突入した。とはいえ5年の運用を予定していることから、ようやく折り返し点が見えてきたというところであり、今後も多くのことを学んでいかなければならないであろう。

7月と8月には、計算機更新に伴い、03Z帯のVISSR観測を中止して移行工事を実施した。この間多方面で御迷惑をおかけしました。今後も計算機更新に伴う欠測が予定されていますので、御理解と御協力をお願いします。

（気象衛星センターニュースより）